

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信州 ACE プロジェクト 健康寿命延伸で活力あふれる村づくり事業
事業主体 (連絡先)	山形村 東筑摩郡山形村 2030-1
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,680,580 円 (うち支援金 : 1,789,000 円)

### 事業内容

地域の集いの拠点である保健福祉センター内にウォーキングコースの整備や健康遊具を設置することで、村民が自主的に運動できる場を提供して運動定着を図った。また、ウォーキング教室を開催してコースの紹介や健康遊具の使い方指導をして運動定着、健康寿命延伸の啓発活動に努めた。

- ・時期 平成29年10月28日(土)
- ・場所 山形村保健福祉センター
- ・参加者 約30名

(活動写真)



【ウォーキングコースと健康遊具】

### 【目標・ねらい】

- ①健康寿命延伸
- ②村民が自主的に運動する場所の確保(運動定着)

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①地域の集いの拠点である保健福祉センター内にウォーキングコースの整備することで、安全なウォーキングコースの整備、地域コミュニティ構築(仲間づくり)などの効果が図れた。
- ②村内未設置であった健康遊具を設置することで村民が自主的に運動する場所の確保ができ運動定着を図ることができた。
- ③健康遊具を介護予防教室で活用することで介護予防に期待ができる。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

- ・ウォーキングコースの整備2ヶ所
- ・健康遊具0基から6基設置
- ・ウォーキング教室の開催

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後はウォーキングコース、健康遊具を活用した事業の展開をしていくとともに、健康寿命延伸の啓発活動を推進していく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある